

SCB SHINKIN
CENTRAL
BANK

金融調査情報

2019-22

(2019. 11. 20)



信金中央金庫

SCB 地域・中小企業研究所

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp>

枚方信用金庫の創業支援への取組み

視点

中小企業の資金需要増などを受け、2019年3月末の信用金庫の企業向け貸出金残高は6年連続で前期比増加した。信用金庫が企業向け貸出を伸ばすための施策を挙げると、短期的には営業店の業績評価の見直しや新店舗の出店が、中長期的には創業支援の強化が有効と考えられる。

本稿では中長期的な推進策に位置付けられる創業支援に注目し、特徴的な取組事例として枚方信用金庫（本店：大阪府枚方市）を紹介する。同金庫は、北河内7市や商工会議所、日本政策金融公庫などと連携した創業支援融資の実行に加え、創業者に対し「創業祝い金制度」を実施している。本制度は創業者のフォローやネットワーク化に効果がみられる。

要旨

- 2019年3月末の信用金庫の企業向け貸出金残高は46兆1,756億円であり、6年連続で前期を上回った。1先平均残高は9年連続で前期比増加の4,040万円である。
- 企業向け貸出の推進策を挙げると、短期的には営業店評価の見直しや新店舗の開設が有効とされる。また、中長期的な施策としては創業支援の強化がある。
- 本稿では、創業支援への取組事例として枚方信用金庫を紹介する。同金庫は「創業祝い金制度」を通じ、創業者へのフォローに力を入れている。
- 同金庫による継続的かつ高付加価値のフォロー策などが奏功し、同金庫の関わる創業者は創業後5年を経過しても事業継続を行っている先が多い。

キーワード

企業向け貸出の伸長、創業支援の強化、継続的なフォロー策

目次

はじめに

1. 企業向け貸出の推移
2. 創業支援の強化による企業向け貸出の伸長
3. 枚方信用金庫の創業支援策
4. 評価等

おわりに

はじめに

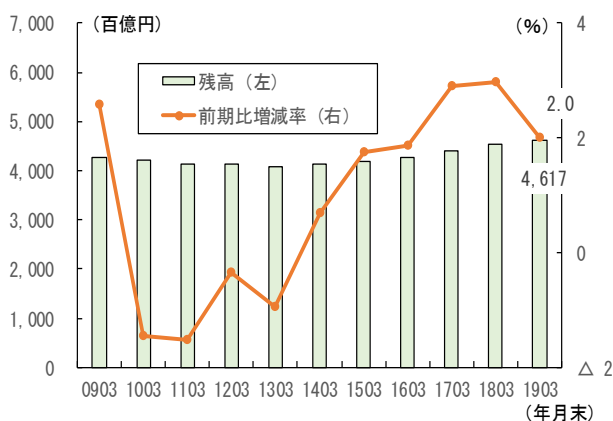
中小企業の資金需要増などを受け、2019年3月末の信用金庫の企業向け貸出金残高は6年連続で前期比増加した。信用金庫が企業向け貸出を伸ばすための施策を挙げると、短期的には営業店の業績評価の見直しや新店舗の出店が、中長期的には創業支援の強化が有効と考えられる。

本稿では中長期的な推進策に位置付けられる創業支援に注目し、特徴的な取組事例として枚方信用金庫（本店：大阪府枚方市）を紹介する。同金庫は、北河内7市や商工会議所、日本政策金融公庫などと連携しているだけでなく、創業者に対し「創業祝い金制度」を実施している。本制度は創業者のフォローやネットワーク化に効果がみられる。

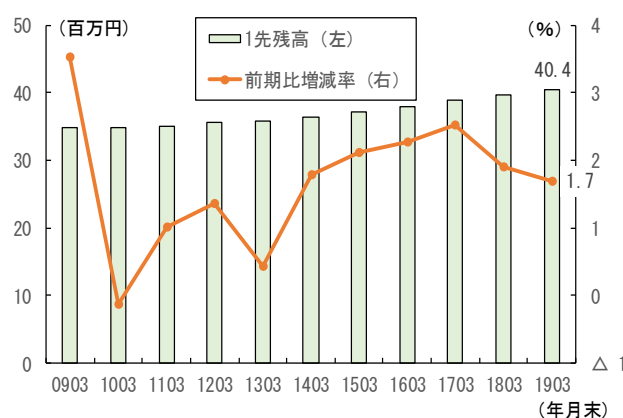
1. 企業向け貸出の推移

(1) 残高・先数・1先平均残高の状況

(図表1) 企業向け貸出金残高の推移



(図表2) 企業向け貸出金残高1先平均の推移



(備考) 1. 本稿では他業態との合併等を考慮しない。

2. 切捨ての関係で合計が一致しない場合等がある。

3. 図表1から7まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2019年3月末の信用金庫の企業向け貸出金残高は、前期比2.0%、9,227億円増加の46兆1,756億円となった(図表1)。中小企業の資金需要増などを受け、企業向け貸出金残高は6年連続で前期を上回った。また、2019年3月末の企業向け貸出先数は114.2万先となり、3年連続で前期比増加した。先数の伸びを残高の伸びが上回ったことから、企業向け貸出の1先平均残高は増加傾向にあり、2009年3月末(3,481万円)から2019年3月末には4,040万円となった(図表2)。

(2) 地区別の状況

2019年3月末の地区別の企業向け貸出金残高は、全11地区で前期を上回った(図表3)。2009年3月末と比較すると、北陸と九州北部で減少し、他の9地区で増加した。なお、2019年3月末の貸出金残高に占める企業向け貸出の割合は、東京が77.0%に達する一方で北陸は51.9%に留まる。1先平均では、近畿の4,781万円が最も大きく、それに東海(4,416万円)、東京(4,315万円)が続く。

(図表3) 地区別の企業向け貸出金残高

(単位: 百億円、%、百万円)

| 地区 | 2009年3月末 | | | 2018年3月末 | | | 2019年3月末 | | | | | | | |
|------|----------|-----------|----------|----------|-----------|----------|----------|--------|--------|-------|------|-----------|----------|---------|
| | 残高 | 貸出金に占める割合 | 1金庫平均の残高 | 残高 | 貸出金に占める割合 | 1金庫平均の残高 | 残高 | 0903比 | | 1803比 | | 貸出金に占める割合 | 1金庫平均の残高 | 1先平均の残高 |
| | | | | | | | | 増減率 | 増減額 | 増減率 | 増減額 | | | |
| 北海道 | 184.7 | 58.1 | 7.6 | 185.6 | 59.0 | 9.2 | 190.9 | 3.3 | 6.1 | 2.8 | 5.2 | 60.3 | 9.5 | 36.5 |
| 東北 | 136.4 | 58.3 | 4.5 | 143.8 | 58.3 | 5.3 | 146.7 | 7.6 | 10.3 | 2.0 | 2.9 | 58.7 | 5.4 | 33.3 |
| 東京 | 897.5 | 71.7 | 39.0 | 1,049.5 | 76.3 | 45.6 | 1,078.8 | 20.2 | 181.3 | 2.7 | 29.2 | 77.0 | 46.9 | 43.1 |
| 関東 | 783.0 | 64.5 | 15.9 | 777.0 | 60.4 | 15.8 | 798.4 | 1.9 | 15.3 | 2.7 | 21.3 | 60.7 | 16.2 | 35.9 |
| 北陸 | 113.9 | 61.1 | 6.3 | 88.2 | 51.2 | 5.5 | 89.1 | △ 21.7 | △ 24.8 | 1.0 | 0.9 | 51.9 | 5.5 | 33.3 |
| 東海 | 826.5 | 64.7 | 21.1 | 841.3 | 57.5 | 22.1 | 844.1 | 2.1 | 17.6 | 0.3 | 2.8 | 57.4 | 23.4 | 44.1 |
| 近畿 | 892.4 | 68.1 | 27.8 | 989.0 | 65.1 | 34.1 | 1,013.7 | 13.5 | 121.2 | 2.4 | 24.7 | 65.7 | 34.9 | 47.8 |
| 中国 | 197.2 | 64.0 | 8.2 | 204.9 | 64.0 | 9.7 | 205.4 | 4.1 | 8.2 | 0.2 | 0.5 | 63.5 | 9.7 | 34.1 |
| 四国 | 60.7 | 55.1 | 6.0 | 62.4 | 59.2 | 6.2 | 64.3 | 5.8 | 3.5 | 2.9 | 1.8 | 59.4 | 6.4 | 35.7 |
| 九州北部 | 78.2 | 63.8 | 5.5 | 77.2 | 61.3 | 5.9 | 78.0 | △ 0.3 | △ 0.2 | 1.0 | 0.7 | 61.3 | 6.0 | 27.6 |
| 南九州 | 94.3 | 63.6 | 6.2 | 98.6 | 61.7 | 7.0 | 99.5 | 5.5 | 5.1 | 0.8 | 0.8 | 62.0 | 7.1 | 27.7 |
| 全国 | 4,271.7 | 65.8 | 15.3 | 4,525.2 | 63.7 | 17.3 | 4,617.5 | 8.0 | 345.8 | 2.0 | 92.2 | 64.1 | 17.8 | 40.4 |

(備考) 沖縄県は全国に含む。

(3) 信用金庫別の状況

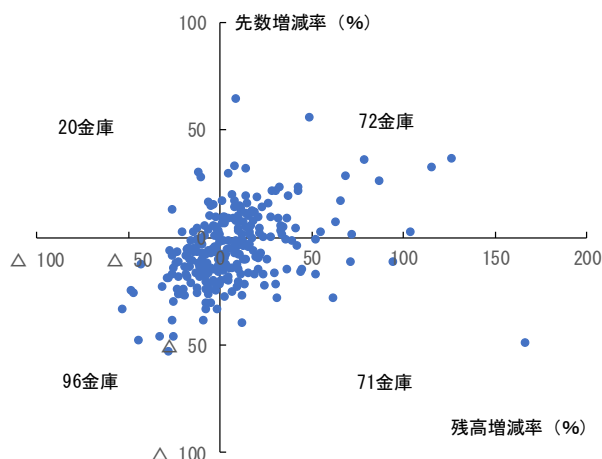
2019年3月末の信用金庫別の企業向け貸出金残高増減状況は、前期比増加が180金庫(構成比69.4%)、前期比減少は79金庫(30.5%)であった。

2009年3月末から2019年3月末までの企業向け貸出金残高と貸出先数の関係を見ると、①残高・先数ともに増加が72金庫(27.7%)、②残高増・先数減が71金庫(27.4%)、③残高減・先数増が20金庫(7.7%)、④残高・先数ともに減少は96金庫(37.0%)であった(図表4)¹。

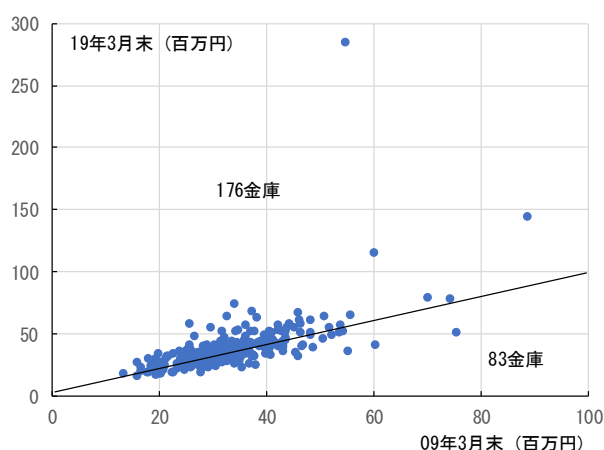
¹ 先数の増減なしは増加にカウント

また、企業向け貸出の1先平均残高の変化をみるため、2009年3月末と2019年3月末を比較した(図表5)。2009年3月末に比べ1先平均残高が増加した信用金庫が176金庫(67.9%)となり、平均残高の増加した信用金庫の方が多かった。

(図表4) 信用金庫別の残高・先数の増減関係
(09年3月末→19年3月末)



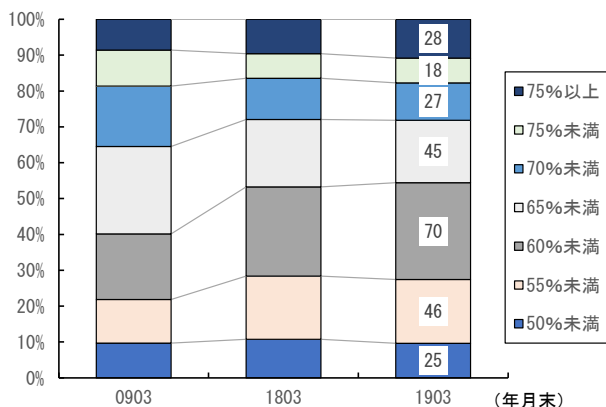
(図表5) 信用金庫別の1先平均残高
(09年3月末、19年3月末)



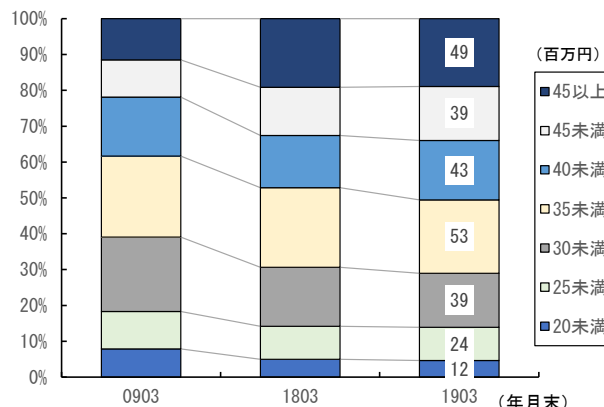
2019年3月末の信用金庫別の企業向け貸出比率(構成比)は、①55%未満が71金庫(27.4%)、②55%以上65%未満が115金庫(44.4%)、③65%以上は73金庫(28.2%)となった(図表6)。なお、構成比が90%を超える信用金庫は3金庫、20%未満の信用金庫は1金庫ある。

2019年3月末の信用金庫別の企業向け貸出1先平均残高(構成比)は、①30百万円未満が75金庫(29.2%)、②30百万円以上40百万円未満が96金庫(37.5%)、③40百万円以上は88金庫(33.9%)であった(図表7)。なお、1先平均残高が100百万円を超える信用金庫は3金庫、20百万円未満の信用金庫は12金庫ある。

(図表6) 信用金庫別の企業向け貸出比率(構成比)



(図表7) 信用金庫別の企業向け貸出1先平均残高(構成比)



2. 創業支援の強化による企業向け貸出の伸長

信用金庫が企業向け貸出を伸ばすための施策を挙げると、短期的には営業店の業績評価の見直しや新店舗の出店が考えられる。営業店が企業向け貸出に専念するよう、大都市部に立地する信用金庫を中心に、営業店の業績評価から住宅ローン項目を外す動きがある。特に企業向け貸出先数の伸長を目指す信用金庫では、事業性の小口貸出の評価ウェイトを高めている。また、隣接する市区町村や、店舗網の薄いエリアへの新規出店を通じて企業向け貸出を伸ばす信用金庫もある。ここ数年、地域銀行や信用金庫の間で新規出店（または開設）が相次ぐ空中店舗や法人事務所などの法人特化型店舗がこの代表例と言える。

一方、中長期的な施策に位置付けられる創業支援に取り組む信用金庫も多い。信用金庫が創業時から積極的に関わることで、当該企業との密着度を高められるし、創業先の成長により将来的には地域の雇用創出や経済発展が期待される。

本稿では中長期の企業向け貸出推進策である創業支援に注目する。これまで当研究所は金融調査情報 29-33「信用金庫の創業支援策について—新たな担い手発掘の強化が必要—」や、30-3「信用金庫の創業先に対するフォローアップ強化策について」などで個別の取組事例を提供してきた。今回は、大阪府枚方市に本店を置く枚方信用金庫の創業支援への取組みを紹介する。

3. 枚方信用金庫の創業支援策

(1) 体制

大阪府枚方市に本店を置く枚方信用金庫は、北河内7市²および商工会議所、日本政策金融公庫、保証協会などと連携し、創業支援に取り組んでいる（図表8）。

同金庫は、2014年度より独自の地方創生策として策定した「巡リズム[®]」を展開中である³。創業支援の強化は、地方創生の一環であり、事業者の育成と地域産業の振興を図り、さらには地域社会全体の活性化が期待されるものである。同金庫の営業地域である北河内7市は産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受けており、同金庫も創業支援事業者として連携している。

（図表8）信用金庫の概要

| | |
|-------|----------------|
| 信用金庫名 | 枚方信用金庫 |
| 本店所在地 | 大阪府枚方市 |
| 創 立 | 1950年（昭和25年）8月 |
| 預金残高 | 3,813億円 |
| 貸出金残高 | 1,769億円 |
| 店 舗 数 | 20店舗 |
| 常勤役員数 | 316人 |

（備考）2019年3月末

² 枚方市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市の7市

³ 近居・住替え促進事業

同金庫は創業支援を推し進めるにあたり、経営トップから強いメッセージがあった。金融機関が創業支援に消極的な理由に信用リスクの高さや1件あたりのロットが小さく収益化しにくい点などがある。

しかし、同金庫の理事長は自らが創業支援の重要性を役職員に周知し、営業店職員の活動活発化を促している。その結果、同金庫では若手・中堅職員も含め創業支援に前向きに取り組む体制が整った。

一般に信用金庫の創業支援策は、①創業支援融資などの金融面の支援と、②事業計画策定などの経営面の支援とに分かれる。以下では、同金庫の創業支援策のうち特徴的な創業支援対応型融資「アシスト」および「アシスト・フォロー」の取扱いと、創業後の支援策である「創業祝い金制度」を中心に紹介する。

(2) 創業支援融資の取扱い

① アシストの提供

(図表9) アシストの商品概要

| | |
|-----------|---|
| 商 品 名 | ひらしん創業支援対応型融資「アシスト」 |
| 融 資 対 象 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 創業を予定する場合 具体的な創業計画を有し、今後6か月以内に創業予定の方 ・ すでに創業している場合 税務申告2年未満 |
| 資 金 使 途 | 事業性資金（運転資金・設備資金等） |
| 融 資 限 度 額 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不動産担保の場合：1,000万円以内 ・ 無担保の場合：500万円以内 |
| 融 資 期 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転資金：3年以内 ・ 設備資金：5年以内 |
| 融 資 形 式 | 証書貸付 |
| 返 済 方 法 | 元金均等返済（利息先取り） （6か月の据置期間を設けることが可能） |
| 融 資 利 率 | 固定金利：3.80%（但し、下記の①・②に該当する場合は、合計で最大1.00%の引下げが可能） ①認定支援機関（税理士・公認会計士等）を利用して策定した事業計画等を有する場合 →0.50%引下げ ②不動産担保の場合 →0.20%～0.50%引下げ |
| 連 帯 保 証 人 | （法人）原則として代表者 （個人）経営に参画される方1人 ※ただし「経営者保証に関するガイドライン」を遵守し検討 |
| 取 扱 手 数 料 | 10,000円+消費税 （不動産担保の場合は、別途「不動産担保事務取扱手数料」を徴求） |

(備考) 図表9、10とも枚方信用金庫資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

同金庫は、日本政策金融公庫と連携して創業支援対応型融資「アシスト」を2014年8月から取り扱っている（図表9）。融資対象は、同金庫の営業地区内で創業（起業）を目指す事業者および創業間もない事業者である。ポイントは、日本政策金融公庫とのワンストップ審査の為、必要書類を共通できるというもの。当金庫と日本政策金融公庫とで協調融資を行うことができるのが魅力である。

同金庫は同公庫と密接な協力体制を敷いており、連携して創業支援に取り組んでいる。同商品の実行についても、ケースによっては同金庫が単独で実行、同公庫との協調融資の場合がある。なお、同金庫は商工会議所や同公庫との連携を重視するため、同金庫単独での創業支援セミナーなどに消極姿勢である。

② アシスト・フォローの提供

同金庫は、2018年8月、日本政策金融公庫と連携して新たにひらしん事業育成資金「アシスト・フォロー」の取り扱いを開始。同商品は、創業から間もない事業者がもう一段の成長を実現するため金融面で支援するものである（図表10）。融資対象は、創業から5年以内の事業先で、かつ同公庫で、日本政策金融公庫が融資を承諾し当金庫に紹介してきた先である。

（図表10）アシスト・フォローの商品概要

| | |
|-----------|---|
| 商 品 名 | ひらしん事業育成資金「アシスト・フォロー」 |
| 融 資 対 象 | ・ 日本政策金融公庫で融資を承諾し当庫に紹介してきた先 ・ 創業後5年以内の事業先 ・ 同金庫の会員または会員資格を有する事業先 |
| 資 金 使 途 | 事業資金（運転・設備） |
| 融 資 限 度 額 | 500万円（10万円単位） 日本政策金融公庫との協調融資とする。（協調割合は自由） |
| 融 資 期 間 | ・ 運転資金 7年以内（うち据置期間1年以内） ・ 設備資金 7年以内（うち据置期間2年以内） |
| 融 資 形 式 | 証書貸付 |
| 返 済 方 法 | 元金均等返済（利息先取り） |
| 融 資 利 率 | 日本公庫所定の金利に対応 |
| 担 保 | 担保不要 |
| 保 証 人 | ・ 個人事業主は、原則、保証人不要 ・ 法人の場合は代表者の連帯保証が必要 ※ただし「経営者保証に関するガイドライン」を遵守し検討 |
| 取 扱 手 数 料 | 事務取扱手数料 10,000円＋消費税 |

(3) 創業祝い金の制度

① 狙い

同金庫は、2015 年度から創業支援対応型融資「アシスト」の実行先を対象に「創業祝い金」の贈呈を行っている（図表 11）。同金庫は創業を支援した先に対し定期積金の契約を求める。5 年間は資金繰りの定期的なフォローを行っている。創業祝い金制度については、創業者のフォローをさらに強化するべく導入した経緯がある。

創業祝い金を贈呈する事が目的ではなく、創業者に贈呈式および意見交換会への出席を促し、人脈作りや高度な支援策を実施するきっかけ作りが目的の一つとなっている。

② 概要

創業祝い金の贈呈対象先は、①日本政策金融公庫のアシストを利用、②決済口座に同金庫口座を指定、③融資総額 200 万円以上などであり、営業店が贈呈条件などを基に候補先の申請を行う。また、贈呈式への創業者の出席（代理出席などは不可）や5年間の資金繰り等の経営状況の報告を条件としている。

創業祝い金の額は1社10万円である。同金庫は每期30社分の創業祝い金の予算枠を確保しており、仮に贈呈対象先が30社を超える場合は次回以降に変更することになる。

（図表 11）創業祝い金の概要

| | |
|---------|---|
| 贈 呈 先 | 創業支援対応型融資「アシスト」の利用先 |
| 贈 呈 条 件 | 同金庫を決済口座に指定、融資額 200 万円以上 |
| 贈 呈 額 | 1 社 10 万円 |
| 贈 呈 式 | 年 2 回（5 月、11 月）開催 |
| 予 算 枠 | 每期 30 先限定 |
| そ の 他 | 創業者の贈呈式への参加を条件とする。 経営内容について 5 年間のモニタリングにご協力頂く。 |

（備考）ヒアリングより信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

③ 贈呈式の流れ（図表 12）

同金庫は5月と11月の年2回、創業祝い金の贈呈式を開催する。通常、1回の贈呈式には4～5社が出席する。当日は贈呈式の後、創業者および同金庫の担当者、既に創業した方（先輩創業者）、行政機関の職員などによる意見交換会を開催し、創業時の苦労話や将来の夢などについて情報共有する。これは、支援機関などを含めたネットワーク化、人脈作りに役立っている。

また、創業者には同金庫「ひらしん若手経営者の会」への無料参加（1回）を促しており、同金庫は創業者と若手経営者との関係作りをすることにより、経営者としてのアドバイスや経営者の孤独を回避することを狙っている。

(図表 12) 贈呈式後の意見交換会の様子



(備考) 枚方信用金庫提供

4. 評価等

(1) 実績の例

同金庫の2018年度の創業支援融資の実績は、個人事業主を含め約130件である。このうちアシストの実行実績は24件である。これまでの4年間で70件、1.9億円の実行があり、1先あたりの平均融資額は200万円程度となる。アシスト・フォローは、2018年8月から2019年3月末までで8件実行した。その他、病院や介護施設などの開業資金については保証協会またはプロパー融資で対応するケースがある。

創業祝い金制度などの密接なフォロー策が奏功し、同金庫が関わった創業者で経営破綻する件数などは極めて少ない。

(2) 今後の計画等

同金庫は地方創生を推進するため、今後も創業支援に力を入れていく考えである。老朽化した駅前店舗の建替えに合わせて創業支援（インキュベーション）施設や創業者向けの交流サロンの開設などについても検討していく。

おわりに

信用金庫が創業支援に取り組むうえで創業後の密接なフォロー実施が課題となっている。成長過程にある創業者に対する確かな経営アドバイスを行うためにも、継続的なフォローの実施は不可欠である。枚方信用金庫は、創業先に対する定期積金の集金業務の活用に加え、創業祝い金制度による接点確保に取り組んでいる。同様の問題意識を持つ信用金庫が創業者のフォロー策を行うにあたり、検討してみる価値はあるのではないだろうか。

以 上
とね かずゆき
(刀禰 和之)

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。投資・施策実施等についてはご自身の判断によってください。

【バックナンバーのご案内：金融調査情報】

| 号 数 | 題 名 | 発行年月 |
|---------|--|----------|
| 2019-1 | 信用金庫の小売業、飲食業、宿泊業向け貸出動向 | 2019年4月 |
| 2019-2 | 信用金庫の若手職員育成事例④ -新宮信用金庫- | 2019年5月 |
| 2019-3 | 福井信用金庫の2支店の平日休業について | 2019年5月 |
| 2019-4 | 女性職員の活躍拡大への取組み -湘南信用金庫の制服廃止- | 2019年7月 |
| 2019-5 | 高齢社会に対応した成年後見サポートへの取組み -沼津信用金庫の事例から考える信用金庫による地域貢献- | 2019年7月 |
| 2019-6 | SBI証券による地域銀行との共同店舗開設について | 2019年8月 |
| 2019-7 | 人口減少・高齢社会の店舗展開 -おかやま信用金庫「内山下スクエア」- | 2019年8月 |
| 2019-8 | 空知信用金庫の「健康企業宣言」 | 2019年8月 |
| 2019-9 | 信用金庫における純資産の充実動向とその意義について -配当政策等における地域銀行との比較- | 2019年9月 |
| 2019-10 | 信用金庫の地区別貸出金増加率と業種別寄与度の動向 | 2019年9月 |
| 2019-11 | 信用金庫統計でみる2018年度と2019年度（7月まで）の動き | 2019年9月 |
| 2019-12 | 信用金庫の事務合理化への取組み（その2） -経営戦略23- | 2019年9月 |
| 2019-13 | 信用金庫における製造業への支援方法-支援体制の強化- | 2019年9月 |
| 2019-14 | 信用金庫のATM効率化への取組み -経営戦略24- | 2019年9月 |
| 2019-15 | 信用金庫の貸出金利回り改善への取組み -経営戦略25- | 2019年11月 |
| 2019-16 | 信用金庫の手数料収入強化への取組み -経営戦略26- | 2019年11月 |
| 2019-17 | 蒲郡信用金庫の未利用口座管理手数料 | 2019年11月 |
| 2019-18 | 城南信用金庫の職場風土改革への取組み「ABC実践ミーティング」 | 2019年11月 |
| 2019-19 | 金融検査マニュアル廃止後の自己査定・償却・引当の取扱い -「金融検査マニュアル廃止後の融資に関する検査・監督の考え方と進め方」(案)にかかる論点整理- | 2019年11月 |
| 2019-20 | 信用金庫の生産性向上への取組み -住友生命WPIプロジェクト- | 2019年11月 |
| 2019-21 | 枚方信用金庫の地方創生（巡リズム®）への取組み | 2019年11月 |

*バックナンバーの請求は信金中央金庫営業店にお申しつけください。

信金中央金庫地域・中小企業研究所 活動状況
(2019年10月実績)

○レポート等の発行状況

| 発行日 | 分類 | 通巻 | タイトル |
|----------|------------|---------|--|
| 19.10.3 | 内外金利・為替見通し | 2019-7 | 市場の動き次第では、日銀が追加緩和措置を発動する可能性も |
| 19.10.11 | ニュース&トピックス | 2019-37 | 消費税率引上げが中小企業に与える影響 —第177回全国中小企業景気動向調査より— |
| 19.10.15 | 中小企業景況レポート | 177 | 7~9月期業況は小幅低下で先行きにもやや慎重 【特別調査—消費税率引上げの影響と対応について】 |

○講演等の実施状況

| 実施日 | 講演タイトル | 主催 | 講演者等 |
|----------|--|--|------|
| 19.10.2 | 消費税増税後の経済展望 | 福島信用金庫 | 角田匠 |
| 19.10.4 | 消費税増税後の日本経済と為替相場の展望 | 大川信用金庫 | 角田匠 |
| 19.10.7 | 地域経済の現状と地域金融の役割 | 富士大学 (花巻信用金庫提供講義) | 荻野和之 |
| 19.10.8 | 東京リビック終了後の日本経済の動向について | 鹿児島相互信用金庫 | 角田匠 |
| 19.10.16 | 今後のIoT動向について —IoTは“第4次産業革命”のキーテクノロジー— | 浜松いわた信用金庫 | 鉢嶺実 |
| 19.10.17 | 国内外の経済・金利見通し | 平塚信用金庫 | 奥津智彦 |
| 19.10.18 | 今後の日本経済の見通し | 東京東信用金庫 | 奥津智彦 |
| 19.10.18 | オリンピック後の日本経済動向 米中貿易摩擦と日本経済の影響 | 足立成和信用金庫 | 角田匠 |
| 19.10.19 | 環境変化に挑む！中小企業の経営事例 —新事業・第二創業の事例を中心に— | 鹿児島信用金庫 | 鉢嶺実 |
| 19.10.23 | 中小企業におけるSDGsの活用 | 京都北都信用金庫 (日本青年会議所近畿地区 京都ブロック協議会) | 藤津勝一 |
| 19.10.28 | 消費増税後の経済見通し | 埼玉県信用金庫協会 | 角田匠 |

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03-5202-7671 (ダイヤルイン) FAX: 03-3278-7048

e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp

URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/> (信金中央金庫)

<https://www.scbri.jp/> (地域・中小企業研究所)